



# ちばりは ニュース

2016年5月 発行 第24号  
千葉県千葉リハビリテーションセンター 広報誌



〒266-0005  
千葉市緑区誉田町1-45-2  
TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857  
ホームページアドレス  
<http://www.chiba-reha.jp/>

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

## 理念

「誰もが街で暮らすために」  
Everybody will be in own town  
—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

## 基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。

## 熊本地震被災地に支援チームを派遣しました

4月14日と16日、熊本県を震源とする震度7の地震が発生し、熊本・大分両県を中心に甚大な被害が生じました。この「平成28年熊本地震」の被災地支援のために、当センターでは**大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）**の要請を受けて、職員を熊本県に派遣しました。今号では、現地に派遣された職員の報告をもとに、現地支援の様様をお届けします。

- 4/14
  - ・前震発生（M6.5、震度7）
  - ・JRAT対策本部設置。情報収集を開始。
- 4/16
  - ・本震発生（M7.3、震度7）
  - ・地域団体への協力要請が始まる。
- 4/17
  - ・JRATからC-RATへ支援チーム派遣依頼。
  - ・C-RATから各病院へ派遣依頼を配信。
- 4/20
  - ・県内4病院から派遣協力承諾。
- 4/22
  - ・千葉県第一陣出発。翌日から支援開始。
- 4/25
  - ・千葉リハから第1班出発。26日～29日の4日間支援に当たる。
- 5/5
  - ・千葉リハ第2班出発。6日～10日の5日間支援に当たる。

前震の発生後、JRATでは対策本部が設置され、本震の発生後には、各地の支援団体への協力要請が出されました。千葉県における災害リハビリテーション組織である**千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）**にも、被災地における支援チーム派遣の要請がありました。事務局である当センターから参加を募った結果、県内の4病院から支援チームを派遣することになり、**本震発生から1週間で千葉県チームが被災地での活動を開始しました。**当センターからも、4人からなる支援チームを2班派遣し、熊本県内で活動を行いました。



千葉リハ第1班  
(医師・理学療法士・作業療法士・看護師)



千葉リハ第2班  
(理学療法士・作業療法士・看護師)



**災害とリハビリの関係は2月発行の第23号にも詳しく掲載しています！**

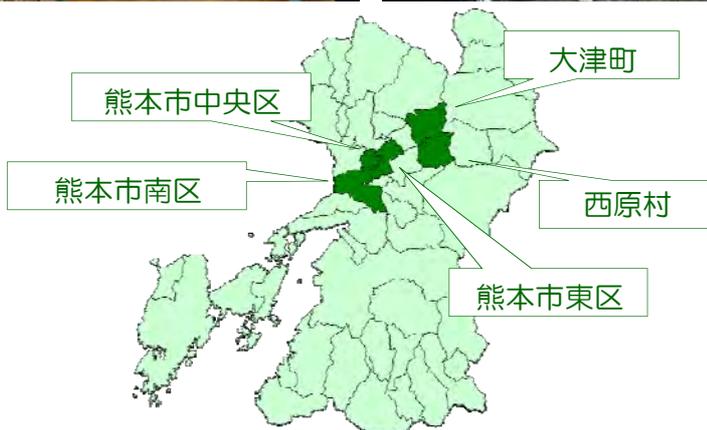
第1班 (4月26日～4月29日)

避難所のアセスメント

第1班は道路網が寸断される中、陸路で熊本入りしました。現地では震度7を観測した西原村や大津町・熊本市東区で支援を行いました。

各地の避難所を巡回し、リハビリのニーズのある避難者は居ないか調査を行った(リハ・トリアージ)ほか、避難所の状況も確認し、より活動しやすくなるように環境を整えました。また、生活不活発病(避難所等において動かなくなることで心身の機能が低下してしまう)を防ぐため、予防体操のパンフレットの配布や、実際に集団体操も実施しました。

各避難所の調査では、建物の中に入らず車中にとどまった人も多く居る中で、一人ひとりに声を掛けて聞き取りを行い、避難している方の状況の把握に努めました。



第2班 (5月6日～5月10日)

個別介入が中心に

第2班は大津町を中心に、後半は二手に分かれて熊本市中央区や南区で支援を行いました。

各地の避難所を巡回し、リハビリのニーズの調査、集団体操を実施しました。この時期にはさらに踏み込んで、個々の避難者に対して、他のチームや避難所に常駐する専門職と情報を共有しながら、ご家族への介助指導など個別の対応も多く行いました。避難所の集約が始まり、避難者の移動が進む中で、避難所の環境についても提案を行いました。



派遣を終えて…

最後に、熊本での活動を終えた職員の声、現地報告の中からお届けします。

「私達が6日に熊本に到着した際に右も左もわからない状態で引継ぎを受け、なんとか試行錯誤しているうちに状況が掴めてきて、やりたいことがわかってきたあたりで任期が終わってしまうという継続性の難しさを実感しました。今回は我々の力量不足により、頂いた期間では行いたい支援が十分にできなかったと痛感しております。しかし、継続的に支援団体が介入することで、それらの思いをつなぐことができると信じています。ゆくゆくは被災地域自らの力で復興することを期待しています。

普段リハセンターでの臨床に従事しているだけではわからない住民の生活（今回は災害時という特殊な時期でしたが）に対して、試行錯誤しながらも深く関わることができました。さらに、避難所の方々や地元のスタッフ、他地域からの支援団体などを通じて多くのことを学びました。これらを帰ってから、センターの利用者やスタッフに対して還元していきたいと思います。」



♪ 毎年恒例！新しい仲間たちを紹介します ♪



**診療部 リハ・リハビリ科  
(医師)**  
 モットー：  
 一期一会  
 出身地：高知県  
 趣味：読書

**中山 一さん**

多職種協働による良質なリハビリテーションを提供していきたいと思ひます。



**診療部 整形外科  
(医師)**  
 モットー：  
 耐えることが人生  
 出身地：いすみ市  
 趣味：野球観戦（千葉ロッテ）

**吉野謙輔さん**

伝統ある千葉リハ整形外科の一員として精進いたします。



**リハ・リハビリ療法部  
(小児理学療法士)**  
 モットー：チャレンジ  
 精神を忘れない  
 出身地：千葉市  
 趣味：テニス・サイクリング・ランニング

**海沼慶明さん**

多くの事を吸収して、患者様にとってより良い生活が送れるように関わりたいです。



**リハ・リハビリ療法部  
(成人作業療法士)**  
 モットー：  
 常に最善を尽くすこと  
 出身地：神奈川県  
 趣味：登山・星空観察

**大島琴音さん**

患者様や先輩職員から沢山学び、幅広い視点で患者様に合った支援をしていきたいです



**リハ・リハビリ療法部  
(成人言語聴覚士)**  
 モットー：  
 何事も楽しむ  
 出身地：北海道  
 趣味：写真を撮ること

**岡山末季さん**

患者様の気持ちに寄り添ったリハビリが出来よう、日々努力していきたいです。



**看護部 2A棟  
(看護師)**  
 モットー：  
 努力を大切に  
 出身地：南房総市  
 趣味：音楽鑑賞・岩盤浴

**庄司愛梨さん**

日々の関わりを大切に、患者様が望む退院を支援できるよう頑張ります。



**看護部 3C棟  
(看護師)**  
 モットー：  
 何事も全力で！  
 出身地：市川市  
 趣味：水泳・お菓子作り

**塩沢未来さん**

患者様の希望を支えるリハビリテーション看護を学びたいと思ひます。



**児童発達支援センター  
(指導員)**  
 モットー：  
 七転び八起き  
 出身地：木更津市  
 趣味：ボクシング・登山

**森山祐樹さん**

笑顔を忘れず、皆様と一緒に成長していけるよう頑張りたいと思ひます。



**愛育園 療育支援部  
(生活援助員)**  
 モットー：「なぜ」の視点を大切に  
 出身地：大網白里市  
 趣味：バンド活動・ラーメン屋めぐり

**加藤美雪さん**

生活援助を通し共生社会の一助となるべく、一生懸命頑張ります。

今年4月にセンターにお迎えした方の中からご紹介いたします。

第14回高次脳機能障害交流会（ご報告）

平成28年3月5日（土）当センターにおいて、「いろいろな形の就労～働く力を育む社会とは～」というテーマで高次脳機能障害交流会を開催いたしました。

前半の全体会では、高次脳機能障害者の就労支援をしているB型事業所地域作業所hanaの筒井様、A型事業所房州屋の宮川様、就労移行支援事業所ワークショップ鎌取の三好様にそれぞれの取組みをお話いただきました。

後半の分科会では、小児グループでは学校生活や家庭生活の課題、成人グループでは4班に分かれ、それぞれの生活における課題について、当事者とそのご家族の方々と意見・情報交換を行いました。また、レクリエーショングループでは当事者の方々にポッチャを行い交流を深めました。当日は83名の皆様にご参加をいただきました。



センター案内図



車椅子対応車両を新たに導入しました

これまで当センターには、利用者の皆様の移動に当たって、車椅子で乗車できるワンボックスタイプの普通自動車はありましたが、車体が大きいため狭い路地裏まで入って行けず、利用者の皆様に大変ご不便をおかけしておりました。

この度、**公益財団法人日本財団の助成を得て、車椅子対応型の軽自動車を購入することができました。**外装は、下記写真のとおりとてもカラフルで明るい絵柄となっています。

この車両は、更生園を中心に、センターに入所・入院している利用者の皆様の移動などに使用する予定です。これにより、利用者の皆様の社会復帰に向けた地域移行や就労支援等をさらに充実させることができるようになるものと考えております。



導入車輛  
ハイゼットスローパー

車のご利用

- ・千葉東金道路 大宮インターから約10分
- ・京葉道路 松ヶ丘インターから約25分

電車・路線バスのご利用

- ・JR外房線鎌取駅北口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行約9分
- ・JR千葉駅東口から千葉中央バスのりば2「千葉リハビリセンター」行約40分（土曜・休日のみ）

無料送迎バスのご案内

平成26年8月1日改定

（センター⇄JR鎌取駅 循環運行）

JR鎌取駅北口発 千葉リハビリテーションセンター行き 千葉リハビリテーションセンター発 JR鎌取駅北口行き

時	平日	土曜日
8	10 30 50	10 30 50
9	10 30 50	10 30
10	10 30 50	20 40
11	10 30 50	00 20 40
12	10 30 50	40
13	10 30 50	
14	10 30 50	
15	10 30 50	
16	10 30 50	
17	10 40	

時	平日	土曜日
8	03 23 43	03 23 43
9	03 23 43	03 23
10	03 23 43	13 33 53
11	03 23 43	13 33
12	03 23 43	33
13	03 23 43	
14	03 23 43	
15	03 23 43	
16	03 23 43	
17	03 33	

- ①センター送迎バス発着場所について  
鎌取駅発・・・鎌取駅北口ロータリー付近（専用のバス停はございません）  
センター発・・・センター正面玄関前
- ②車椅子ご利用の乗車定員について  
中型バス（黄色）・・・2名  
マイクロバス（水色）・・・3名
- ③日曜・休日は運休となります。
- ④道路混雑等により遅延する場合があります。